

大府市の事業・取組に対する要請

「地域経済の持続的発展」に向けて

令和 4年 9月20日

大府商工会議所

20年に感謝、そして未来へ。



大府商工会議所の事業・運営につきましては、日頃から格別のご理解とご支援を賜り、心からお礼を申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、迅速なワクチン接種の推進や様々な経済対策に、多大なご努力をいただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

さて、現在の中小企業や地域経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、昨年来の資源価格の高騰や円安基調に加えて、ロシアのウクライナ侵攻が重なり、多大な影響を受けております。

また、人口減少や高齢化、働き方改革、百年に一度といわれる自動車産業革命やカーボンニュートラルなど、構造的な社会課題への対応も求められております。

このような苦境と将来的な課題を見据えて、当地が一層発展するためには、行政、民間を問わない地域一丸となった取組が求められます。

大府商工会議所では、以上の認識を踏まえて、

I 持続可能な地域経済の実現と競争力強化

II 持続可能なまちづくりの推進

III 健康で働きやすい持続可能な地域の実現

＋ 新型コロナウイルス感染症対策

を三本柱プラス ONE として、大府市施策の拡充・強化と愛知県や国へ積極的に働きかけていただきたい事項を取りまとめました。

それぞれの項目について、格別のご理解とご協力を賜りますとともに、その実現を強く願いますものです。

令和4年9月

大府商工会議所会頭 鬼頭 佑治

I 持続可能な地域経済の実現と競争力強化

1 安定的な輸送と物流生産性の向上

(1) 幹線道路ネットワークの整備促進

荒尾大府線、大府東浦線、国道366号線、東海有松線、養父森岡線、瀬戸大府東海線 等

(2) 幹線道路の交差点改良等

田面、本郷、午池南、惣作 等

(3) 高速道路の利便性向上

① 知多半島道路大府パーキングエリアへのスマートインターチェンジ設置

(都)荒尾大府線との接続を想定した整備に向けた施設管理者始め関係者との調整

② 知多半島道路大府西インターチェンジの渋滞解消

知多半島道路と伊勢湾岸自動車道の直接乗り入れの実現に向けた検討深化

2 地域産業の振興と雇用確保

(1) 産業用地の創出

「木の山地区」、「伊勢湾岸自動車道北崎IC周辺地区」、「あいち健康の森隣接地区」等における魅力ある産業用地の整備

(2) 戦略的な企業誘致の推進

・医療・介護等幅広い分野で活用が進むロボット産業等地域牽引企業の誘致

・「あいちサービスロボット実用化支援センター」等との連携
・スタートアップ企業の誘致・育成

(3) 大府市産業振興計画の進捗管理

3 中小・小規模企業の支援強化と人材育成

★(1) 生産性向上支援

がんばる事業者応援補助金のメニュー拡充や新規補助制度による生産性向上に向けた設備投資、エネルギー価格等の高騰に対する支援

(2) 販路開拓支援

がんばる事業者応援補助金の販路開拓支援の予算枠拡充等、支援の充実

★(3) ふるさと納税返礼品登録の拡大

ふるさと納税特産品開発補助金の継続等支援

★(4) 人材の育成・確保支援

・デジタル化を始め、中小企業の経営革新を担う従業員等への研修や技能検定費用支援
・大府市へのUターン就職学生に対する奨学金償還支援

(5) 将来のもののづくりを支える子供の教育

地域産業への関心や理解を促す学校教育の推進

大府市産業振興懇談会の活性化

年1回の形式的な懇談会では、情報交換の量も質も限られる。開催回数増と闊達な意見交換や提案ができる運営に配慮をいただきたい。

小規模事業補助金等の水準維持

商工会議所の財源は、会員会費や事業収入の他、多くを愛知県及び大府市の補助金に負っている。従来の産業振興施策の方向性を踏まえ、小規模事業補助金等の水準を維持いただきたい。

II 持続可能なまちづくりの推進

1 計画的な市街地整備の推進

- ★(1) 大府駅周辺の市街地整備
- ★(2) 公民連携によるまちづくり組織の設置
- (3) 明成地区における市街地整備
- ★(4) ウェルネスバレー地区の市街地整備
- ★(5) 横根北崎地区の市街地整備
- (6) 横根平子地区土地区画整理事業

2 災害に対する強靱化

- ★(1) 境川流域の浸水対策
- ★(2) ブロック塀等の耐震対策

3 大府警察署の新設

一日も早い大府警察署の設置

4 地域のにぎわい創出と快適なまちづくり

- ★(1) イベント実施にたいする支援の拡充
- ★(2) 大府駅自由通路の機能強化
- (3) 大府市観光協会の体制強化とKURUTOおおぶの運営
- (4) 空き店舗等活用補助金制度の拡充

(5) 公共交通サービスの充実

- ★① 通勤や通学にも利用できるよう、大府市循環バス路線の設定と運行ダイヤの改善
- ★② 市循環バスを持続可能な公共交通とするための、利用者負担と利便性確保
- ③ 名古屋市始め近隣市町の公共交通機関との、相互乗り入れ等による連携強化
- ④ 時間帯や曜日によって利用しにくい状況にあるタクシー運行の改善
- ⑤ 公共交通の充実による交通渋滞の緩和と脱炭素化

5 市民の生活と安全を支える生活道路の整備

- ★① 市道大府本町線の中央町1丁目南交差点及び中央町7丁目交差点における右折レーン・右折信号の整備
- ★② 梶田町6丁目交差点から北崎方面へ向かう県道244号線(通学路)の歩行者安全対策
- ③ その他路線の拡幅を始めとする改良事業、歩道の設置、無電柱化、側溝の有蓋化など
- ④ 市内で進む宅地群や産業拠点の開発に対応した新たな市道ネットワーク計画の策定と整備

6 街路樹の整備

街路樹に適した樹種への変更と統一観を持った道路緑化

III 健康で動きやすい持続可能な地域の実現

1 健康経営の推進

- ★(1) 健康経営優良法人認定申請料に対する助成
- (2) 健康経営優良法人認定企業へのインセンティブ付与
- ★(3) これから働き手となる学生への啓発

★2 脱炭素化の推進

- (1) がんばる事業者応援補助金の拡充等
既設補助金のメニュー拡大や新規補助、税制、金融などによる支援強化
- (2) 住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金の拡充
- (3) EV充電ステーションの設置
ゼロカーボンシティを先導するEV充電ステーションの設置
- (4) 資源リサイクルの推進
更なる分別、脱プラスチックによる市民、産業界、行政が一体となった循環型まちづくり

3 ウェルネスバレー構想の推進

- (1) ウェルネスバレー構想実現に向けた企業誘致の推進
道路整備や産業用地開発など企業受入の環境整備
- (2) 地域資源の活用
健康の森やげんきの郷と連携した交流施設の整備
- (3) 中小企業の医療機器産業への新規参入支援
- (4) スタートアップ支援機関のサテライト誘致
- (5) あいち健康プラザ減築への対応
- (6) 新たなウォーキングコースの設定
- ★(7) ウェルネスバレーブリッジ(仮称)の建設
ランドマークとなる施設建設による情報発信

IV 臨時・特別要請 新型コロナウイルス感染症対策

★ 1 新型コロナウイルス感染症の長期化に対応した対策の継続と拡充

- (1) 補助制度の継続と拡充
- (2) 貸出キッチンカー駐車場の貸与
- (3) ふるさと納税返礼品登録の拡大(再掲)

2 公共事業等による景気の下支え

市内事業者への公共工事、物販、役務等の積極発注による地域需要の創出

目 次

I 持続可能な地域経済の実現と競争力強化	1
1 安定的な輸送と物流生産性の向上	
2 地域産業の発展と雇用確保	
3 中小・小規模企業の支援強化と人材育成	
II 持続可能なまちづくりの推進	5
1 計画的な市街地整備の推進	
2 災害に対する強靱化	
3 大府警察署の新設	
4 地域の賑わい創出と快適なまちづくり	
5 市民の生活と安全を支える生活道路の整備	
6 街路樹の整備	
III 健康で働きやすい持続可能な地域の実現	10
1 健康経営の推進	
2 脱炭素化の推進	
3 ウェルネスバレー構想の推進	
IV 臨時・特別要請 新型コロナウイルス感染症対策	14
1 新型コロナウイルス感染症の長期化に対応した支援の継続と拡充	
2 公共事業等による景気の下支え	
おわりに	16
参考資料	17

I 持続可能な地域経済の実現と競争力強化



1 安定的な輸送と物流の効率化

(1) 幹線道路ネットワークの整備促進

産業活動を支える物流を始め、地域間交流を円滑かつ安全に支える幹線道路の早期整備は当地域の大きな課題の一つです。

特に、尾張、三河、知多をつなぐ交通結節点である当地域は、道路整備の遅れや鉄道による市街地の分断などから、慢性的な交通渋滞が発生しており、経済活動や市民生活に大きな支障をきたしています。

未整備区間の早期開通に向けて事業を加速して物流等の高速化、効率化を図り、地域経済の持続的発展と競争力強化につなげていただきたい。

整備を希望する路線は次の通り。

- | | |
|----------------------|---------------|
| ① (都) 荒尾大府線 | ⑦ (都) 養父森岡線 |
| ② (都) 東海有松線 | ⑧ (都) 柵山大府線 |
| ③ (都) 大府東浦線 | ⑨ (都) 瀬戸大府東海線 |
| ④ 国道 366 号線(衣浦西部線含む) | ⑩ (都) 健康の森線 |
| ⑤ (都) 名古屋刈谷線 | |
| ⑥ (都) 大府駅前線 | |

(2) 幹線道路の交差点改良等

次の交差点については、早急な交差点改良のほか、信号サイクルの時間調整や右折信号の設置等により、渋滞の改善に取り組んでいただきたい。

- | | |
|-----------------------|-------------|
| ① (一般県道名和大府線、東海緑線)・・・ | 田面交差点、本郷交差点 |
| ② ((都)名古屋刈谷線)・・・ | 午池南交差点 |
| ③ (国道 366 号線)・・・ | 梶田町六丁目 |
| ④ (国道 366 号線)・・・ | 梶田町一丁目交差点 |
| ⑤ ((都)瀬戸大府東海線)・・・ | 横根町後田交差点 |

(3) 高速道路の利便性向上

知多半島道路や伊勢湾岸自動車道の有効利用による地域経済の活性化と地域生活の充実を図るため、以下二点について取り組みをお願いします。

① 知多半島道路大府パーキングエリアへのスマートインターチェンジ設置

第4次大府市都市計画マスタープランでは、大府PA周辺に産業系市街地候補ゾーンを設定しており、将来のまちづくりを考える上で、PAへのスマートIC設置は必須と考えます。

また、当商工会議所から愛知県への本件要請に対する県の所見では、「まずは、地元自治体の大府市が、今後のまちづくりの観点からスマートICを設けるかどうか検討していただく必要がある。県としては県道路公社とともに、必要に応じて検討に協力する。」との回答を得ております。

(都) 荒尾大府線との接続を想定しつつ、同PAにスマートICを設置することについて、市として前向きな方針を打ち出していきたい。

② 知多半島道路大府西インターチェンジの渋滞解消

大府西ICを降り、国道302号線と接続する上入道交差点付近の渋滞が顕著であり慢性化しています。愛知県はこの原因が知多半島道路と伊勢湾岸自動車道との接続問題にあることを認め、連絡路の検討を表明しました。

しかし、当該地周辺は民間による開発が旺盛であり、その進展状況によってはジャンクション建設が頓挫しかねません。地元自治体として、事業実現に向けた用地対策などの協力をお願いします。

2 地域産業の発展と雇用確保

(1) 産業用地の創出

地域経済の持続的発展のためには、雇用を確保し税源を涵養する産業力の強化が不可欠です。しかし、大府市内にはまとまった産業用地が少なく、新たな企業進出が難しい状況にあります。

自動車産業を始め、健康医療関連産業やロボット産業等の、地域を牽引する産業の誘致や市内立地事業所の新たな用地需要に応えるためにも、周辺環境との調和を始め、アクセスやエネルギー供給、防災な

どに配慮した魅力ある産業用地を整備していただきたい。

ことに、「木の山地区」「伊勢湾岸自動車道北崎 IC 周辺地区」「あいち健康の森隣接地区」については、愛知県企業庁等と連携して早急に着手していただきたい。

（２）戦略的な企業誘致の推進

製造業の現場に加え、医療・介護や生活支援など、幅広い分野で活用が進むロボット産業については、新たな産業の一つとして期待されています。研究・開発機能が当地に進出して発展し、人材が集まるよう、国立長寿医療研究センター内の「あいちサービスロボット実用化支援センター」等と連携して、企業支援や誘致の充実を図られたい。また、地域産業の技術革新を推進するため、独自の技術やビジネスモデルを有するスタートアップ企業の誘致・育成にも取り組んでいただきたい。

（３）大府市産業振興計画の進捗管理

当会議所は地域唯一の総合経済団体として、地域経済の持続的発展のため行政との連携・協力を惜しみません。令和２年度には、本市産業の総合的な振興を図る「大府市産業振興基本計画」の策定に当所としても参画させていただいたところです。

既設の大府市産業振興懇談会に加えて、新たに設置された大府市産業振興策検討会の積極的な活用や、懇談会と検討会の有機的な連携により、市産業振興計画の推進を図っていただきたい。

3 中小・小規模企業の支援強化と人材育成

（１）生産性向上支援

中小企業の多くは、生産年齢人口の減少に伴う人手不足という経営課題に直面し、経営の合理化や生産性の向上を課題としています。しかし、新型コロナウイルス感染症の長期化に加え、原材料やエネルギー価格の高騰により収益が圧迫され、思うような設備投資ができないのが現状です。

既存の「がんばる事業者応援補助金」のメニュー拡大、あるいは新規の補助制度により、生産性向上に向けた設備投資やエネルギー価格などの高騰に対する支援をお願いします。

(2) 販路開拓支援

企業がビジネスを拡大していくためには、継続的に各種展示会や商談会に参加しながら情報収集を行い、人的ネットワークを構築していく必要があります。

市ではがんばる事業者応援補助金により、販路開拓の支援をしていただいているところですが、予算枠の拡充など更なる支援の充実をお願いします。

(3) ふるさと納税返礼品登録の拡大

ふるさと納税返礼品としての登録は、IT を活用した販路の開拓であり、小規模事業者の新たなビジネスチャンスにつながるものと認識しています。令和 4 年度と同様に今後も市と連携・協力して進めて参りますので、ふるさと納税特産品開発補助金の継続など、支援と指導をお願いします。

(4) 人材の育成・確保支援

当地域がものづくり産業の中心として今後も発展するためには、生産に携わる優秀な人材の育成・確保が不可欠です。ついては、次の項目について支援をお願いします。

① 研修や技能検定費用

今求められているデジタル化を始め、中小企業の経営革新を担う従業員等の研修や技能検定費用に対する支援

② 求人広告費用

求人に当たっての情報誌等の掲載料や合同企業説明会等への出展料に対する支援

③ 大府市への UIJ ターン就職学生に対する奨学金償還支援

(5) 将来のものを支える子供の教育

ものづくりの盛んな当地にとって、将来のものを支える子供の教育は重要と認識しており、地元経済界としても毎年、協賛金等により「少年少女発明クラブ」の支援に努めているところです。

市におかれては学校教育においても、地域産業への関心や理解を促して、ものづくりを支える人材の育成に努めていただきたい。

Ⅱ 持続可能なまちづくりの推進



1 計画的な市街地整備の推進

第6次大府市総合計画や第4次大府市都市計画マスタープランでは、持続可能なまちづくりを進めるため、JR大府駅や共和駅周辺などを中心に、居住機能や商業・医療・福祉などの都市機能を集積するとともに、市内各地をネットワーク化して、多核集約型の都市構造を目指すとしています。これは、平成28年9月に当商工会議所が提言した「大府市まちづくり構想」と軌を一にするものであり、心強く感じているところです。

一方で大府市の現状は、道路整備の遅れや鉄道による市街地の分断により、慢性的な交通渋滞が発生するなど、市街地の発展に支障を来しています。また、都市基盤も脆弱であり、まちの活力低下も危惧されているところです。第6次総合計画や第4次都市計画マスタープランに掲げる方針を、具体的なまちづくり施策につなげていただきたく、代表的な事例を挙げて次の通り要請します。

(1) 大府駅周辺の市街地整備

市道大府本町線沿線では、歩道もない道路境界ぎりぎりにマンションが建設されております。当市の地理的条件や駅周辺の土地利用状況（青空駐車場・空き地・古い木造住宅が多い）を踏まえると、今後も駅周辺ではマンションの建設が進むと思われ、将来の道路整備やまちづくりへの影響が懸念されます。

マンション等施設の建設計画が判明した段階で、行政が規制あるいは指導できるような法的整備をお願いします。

また、こうしたマンションの1階部分への小売り・サービス業等の商業施設入居を条件に、容積率のボーナスを与えて公共空間や周辺住民の利便を確保することはできないでしょうか。

(2) 公民連携によるまちづくり組織の設置

市では、大府駅及び共和駅周辺の市街地整備について、駅周辺まちづくり検討会議を設置して検討を進めるとともに、立地適正化計画の策定を進めていただいております。

当計画の策定は本年度末の予定と承知しておりますが、計画に基づくまちづくりの実現に向けた具体的な取り組みの一つとして、公民連

携によるまちづくり組織の設置について、支援・指導をお願いします。
特に、駅周辺の市街地再整備（空地・公共用地の活用、民間施設の誘導等）には、これを先導する主体の整備が不可欠と考えます。

（３）明成地区における市街地整備

市道大府半田線沿線の市街化調整区域では、商業・サービス施設が带状に進出していますが、その後背地は低未利用地のまま広がっています。また、下水道や排水施設などの都市基盤が未整備のまま市街化が進行しており、治水対策上も問題があると考えます。

第４次都市計画マスタープランの早急な具体化（ゾーニング）をお願いするとともに、短期的には開発許可制度の適切な運用により、調和の取れた市街地整備に努めていただきたい。

（４）ウェルネスバレー地区の市街地整備

ウェルネスバレー地区では、道路や歩道などが未整備の中、福祉施設などがばらばらに進出しています。

明成地区と同様に、第４次都市計画マスタープランの早急な具体化（ゾーニング）により秩序ある立地誘導を希望します。また、短期的には開発許可制度の適切な運用により、当地区の豊かな自然環境を守るとともに、狭隘道路の解消など、良好な生活環境の整備を進めていただきたい。

（５）横根北崎地区の市街地整備

横根北崎地区には、大府市の主要産業である製造業の工場などが多く立地していますが、その周辺には住居、福祉施設、学校などが混在しており、先行して同地区で創業した事業者の中にも、事業の継続に危機感を持つ者もあります。適切なゾーニングや開発許可制度の運用などにより、事業者と地域住民が共存できる市街地整備をお願いします。

（６）横根平子地区土地区画整理事業

横根平子地区では、令和７年の完了を目指して土地区画整理事業を施行中です。この区画整理区域と国道３６６号線とのスムーズなアクセスを確保するため、新規市道の開設も含めて、周辺道路の整備を促進していただきたい。

令和３年度の要請に対しては、「幹線道路へ接続するアクセス道路として、道路幅員を広げる等の整備を進める」との回答をいただきましたが、その後の状況についてご教示ください。

2 災害に対する強靱化

(1) 境川流域の浸水対策

100年に1度の降雨を想定して作成された、大府市の洪水ハザードマップによれば、市東部の境川流域では南北にわたり広範な地域で、依然1メートル以上の浸水が残っており、一部では2メートルを超える浸水被害が予想されています。県管理の施設・河川改修も含めて、中長期の改善計画を明確にして対策を進めていただきたい。

(2) ブロック塀等の耐震対策

危険なブロック塀の改修を希望する声が多いにもかかわらず、補助枠が少ないため、改修が進まない状況にあります。また、現在は通学路に面したブロック塀のみが補助対象とされていますが、他にも危険なブロック塀は多々見受けられます。

市民の安全確保はもとより、災害時の通行の確保など道路の防災性向上のためにも、ブロック塀始め老朽化した建物への対策を拡充していただきたい。

3 大府警察署の新設

当地域は、名古屋市と刈谷市に挟まれた住宅都市として人口が増加しており、治安の維持が大きな課題の一つです。また、本市を管轄する東海警察署との間に距離があることから、市民の利便性にも課題があります。

大府警察署の新設は、本市永年の懸案であります。大府市始め関係者の努力が実り本年8月、大村愛知県知事は大府警察署の新設について、県内46番目の署として検討を始める旨表明されました。

大府警察署の設置が一日も早く実現するよう、引き続き積極的な誘致活動をお願いします。

4 地域の賑わい創出と快適なまちづくり

(1) イベント実施に対する支援の拡充

夏祭り始め民間主催のイベントについては、市から4割の補助金をいただいているところですが、商業者数の減少やコロナ禍の影響で自己負担分の確保が非常に厳しい状況にあります。地域に根付いたイベントを将来にわたり安定的に継続していくため、補助率のアップをお願いします。

また、イベント開催に関する各種行政手続きの簡素化や受付窓口のワ

ンストップ化についても配慮いただきたい。

(2) 大府駅自由通路の機能強化

鉄道による市街地の東西分断は、当市のまちづくりに様々な影響を与えております。大府駅周辺の東西交流や賑わいの醸成、利用者の利便性向上などを図るため、大府駅自由通路の拡張や有蓋化を検討していただきたい。

(3) 大府市観光協会の体制強化とKURUTOおおぶの運営

観光協会を法人化して独立させるとともに、企画力・調整能力・事業運営能力などに優れた経営感覚溢れる人材を確保して、観光協会事業の充実・強化を図っていただきたい。

併せて、観光案内や物産販売も行っているKURUTOおおぶの運営についても、観光振興の視点で引き続き検討をお願いします。

(4) 空き店舗等活用補助金制度の拡充

平成30年4月に施行された本補助制度は、その対象区域を都市計画法第8条第1項第1号に規定する商業地域に指定された区域と定めています。しかし、同区域内には利用可能な空き店舗の数が少なく、制度活用の障害となっています。

また、出店を断念する理由に「大家が貸さない」というものもあります。指定区域を拡大して、より使いやすい制度とするとともに、大家にも空き店舗賃貸のインセンティブを与えるような制度設計をお願いします。

(5) 公共交通サービスの充実

高齢化の進展やライフスタイルの変化、技術革新などにより、長期的には市民の移動手段が、マイカーから公共交通機関にシフトすることが予想されます。将来的なまちづくりと連動した公共交通体系の整備を推進していただくようお願いします。特に、JR東海道本線及び名鉄名古屋本線最寄り駅と市内各地を結ぶ二次交通について配慮していただきたい。

- ① 通勤や通学にも利用できるような、大府市循環バス路線の設定と運行ダイヤの改善
- ② 市循環バスを持続可能な公共交通とするための、利用者負担と利便性確保
- ③ 名古屋市始め近隣市町の公共交通機関との、相互乗り入れ等による連携強化
- ④ 時間帯や曜日によって利用しにくい状況にあるタクシー運行の改善
- ⑤ 公共交通の充実による交通渋滞の緩和と脱炭素化

5 市民の生活と安全を支える生活道路の整備

幹線道路を補完するとともに、市民の生活に密接にかかわる市道を始めとする生活道路の整備は、市民の交通安全確保のみならず産業活動の生産性向上にも大きく影響します。

また、狭隘な道路は、大規模地震発生時等の救急・消防活動に支障を来す恐れが極めて高く、早急な対策が必要です。以下について取り組みを進めてください。

- ① 市道大府本町線の中央町1丁目南交差点及び中央町7丁目交差点における右折レーン・右折信号の整備
- ② 梶田町6丁目交差点から北崎方面へ向かう県道244号線（通学路）の歩行者安全対策
- ③ その他路線の拡幅を始めとする改良事業、歩道の設置、無電柱化、側溝の有蓋化など
- ④ 市内で進む宅地群や産業拠点の開発に対応した新たな市道ネットワーク計画の策定と整備

6 街路樹の整備

大府市では、令和2年9月に策定された「緑の基本計画」に基づき、道路緑化の推進に努められているところですが、街路樹については更新時期に合わせて、街路樹に適した樹種に順次変更していただきたい。

市道大府共和線の楠等は、車両や歩行者の視界を遮るなど、大府市内の道路事情での街路樹としては不適切と考えます。

また、街路樹だけではなくその他の植栽も含めて、美観面からも大府市全体で統一感を持った道路緑化を進めていただきたい。

Ⅲ 健康で働きやすい持続可能な地域の実現



1 健康経営の推進

超高齢社会を迎えた我が国では、労働人口の減少による生産性の低下や医療・介護費の増大等による企業負担増が大きな課題となっています。特に、小規模・零細事業者においては、その影響は大きく労働生産性の向上につながる健康経営の普及・推進が求められています。

大府市が将来像に掲げる「サステナブル健康都市おおぶ」の実現に向けても、健康経営の普及は大きな課題の一つであり、当商工会議所が果たすべき役割も大きいと認識しています。

については、令和2年度から進めている、大府市と大府商工会議所、協会けんぽ愛知支部が連携・協力して進めている健康経営の普及・推進の充実をお願いします。

(1) 健康経営優良法人認定申請料に対する助成

健康経営優良法人認定制度が今年度申請から有料化（大規模法人 88,000 円、中小規模法人部門 16,500 円）されます。優良法人認定制度の認知度は高まっていますが、認定企業はまだまだ少なく、申請の有料化で認定を断念する企業の増加が懸念されます。「サステナブル健康都市おおぶ」を標榜する市として、申請料の一部補助をお願いします。

(2) 健康経営優良法人認定企業へのインセンティブ付与

健康経営優良法人の顕彰に加えて、各種補助金・助成金における加点評価、公共調達における加点評価や優先発注など、健康経営に取り組む企業の動機づけや目的意識の向上につながる施策を拡充していただきたい。

(3) これから働き手となる学生への啓発

健康経営が就活学生へ浸透するよう、「大府市就職ガイド」でもその意義・内容を掲載するなど啓発を進めていただきたい。学生の理解が進めば、健康経営に取り組む企業サイドのメリットにもなり、健康経営の普及につながると考えます。

2 脱炭素化の推進

2020 年 10 月、日本政府が発表した「2050 年カーボンニュートラル宣言」では、2050 年までに脱炭素社会を実現し、温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを目標としています。産業界においても、宣言を契機に生産現場や産業構造を抜本的に見直して、温室効果ガスの排出削減と経済成長の両立を目指すことが求められています。

大府市においては、令和 3 年 1 月の「ゼロカーボンシティ」表明に引き続き、本年 8 月には岡村市長が「世界首長誓約/日本」に署名され、パリ協定の目標達成を誓約されたところです。今後、温室効果ガス削減の目標や具体的な削減方策などを計画して進捗管理をされるものとありますが、既存建物を含めた建築物の省エネ化や効率照明の導入、企業の省エネ・再エネ化投資の拡充、持続可能なエネルギー利用の推進など、地域の脱炭素化に向けた行動に対する指導・支援と充実をお願いします。

（１）がんばる事業者応援補助金の拡充等

新型コロナウイルス感染症の長期化に加え、原材料やエネルギー価格の高騰により収益が圧迫されている中小・小規模事業者にとって、脱炭素化に向けた設備投資は、極めて負担が大きいのが実情です。

既存の「がんばる事業者応援補助金」のメニュー拡大や新規の補助制度、あるいは税制や資金調達上の優遇措置などにより、脱炭素に向けた設備投資やエネルギー購入に対する支援を拡充していただきたい。

（２）住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金の拡充

当補助金は大変好評で、本年度は約 3 か月で申請額が予算に達したと伺っています。固定価格買い取り制度（FIT）の終了もあり、家庭内蓄電（自家消費）にマインドがシフトしております。

市民の脱炭素化に加えて防災対応としても施策効果が高い、蓄電池購入に係る補助の拡充をお願いします。

（３）EV 充電ステーションの設置

ゼロカーボンシティ実現のための先導事業として、市内での積極的な EV 充電ステーションの設置を提案します。

まずは公共施設や観光施設などで、市内外の人々が利用できる充電ステーションを設置して、当市の先導的な取り組みとしてアピールします。その上で市内事業者や個人にも充電設備の設置を促すことで、取り組みを波及させてください。

また、充電ステーションの設置については、市内関連事業者の振興につながるよう、優先的な発注をお願いします。

（４）資源リサイクルの推進

廃棄物の分別を徹底して資源リサイクルを促進することにより、脱炭素化を促進していただきたい。産業界においては、産業廃棄物の分別に努力しているところですが、一般廃棄物についても分別によるごみの減量や脱プラスチックを徹底して、市民、産業界、行政が一体となった循環型まちづくりを推進してください。

3 ウェルネスバレー構想の推進

（１）ウェルネスバレー構想実現に向けた企業誘致の推進

健康・長寿に係る企業等の誘致を進めて「健康長寿の一大拠点」を目指すウェルネスバレー構想ですが、企業が進出意欲を持つためには、事業用地は勿論、道路インフラを始めとする事業環境の整備が不可欠です。

こうした環境整備の見込み次第では、当商工会議所も日本商工会議所始め全国の会議所ネットワークなどを活用しつつ、市と連携・協力して企業誘致を進める用意があります。養父森岡線の整備や産業用地の開発など、企業を受け入れられる環境整備を推進していただきたい。

（２）地域資源の活用

ウェルネスバレー地区には、「あいち健康の森公園」そして「げんきの郷」という多くの人を集める拠点施設が既に立地しています。当所では、平成 28 年の「まちづくり構想提言書」で、これらと連携して農業体験や加工・販売、宿泊・レジャーといった機能を付加する構想を、イメージ図も含めて提案しております。げんきの郷の後背地を活用して、これらのアイデアを具体化していただきたい。

（３）中小企業の医療機器産業への新規参入支援

製販ドリブン事業の活性化に加えて、初期段階での試作・研究開発や実証実験への助成、産学官連携の推進など、事業化を見据えた入口から出口までの支援の充実をお願いしたい。

（４）スタートアップ支援機関のサテライト誘致

愛知県が進める、スタートアップの中核支援拠点「ステーション A i」のサテライト施設を、あいち健康の森地区に誘致されたい。誘致に当たっては、国立長寿医療研究センター内の「あいちサービスロボット実用化支援センター」との連携を検討いただきたい。

健康長寿の一大拠点を目指す同地区内で、医療・介護等に係る起業家や企業、投資家らが交流する拠点とすることで、ウェルネスバレー構想の具体化が推進出来るものと考えます。

(5) あいち健康プラザ減築への対応

あいち健康プラザの減築計画は、新型コロナウイルス感染症対策のため延期されましたが、コロナ禍の終息に伴い、遠からず実施されるものと思います。減築されればプラザの機能はもとより、あいち健康の森公園の集客にも影響が出ると予想されます。

地域の賑わいや憩いの場を提供する貴重な公園施設です。地元自治体として、その動向に十分留意するとともに、公園の管理運営について愛知県に対して適時適切に意見・要望いただきたい。

(6) 新たなウォーキングコースの設定

大府駅西口から健康の森公園へかけてウェルネスバレーロードが整備され、コース各所に案内サインが設置されていますが、ウォーキングを楽しむには今一つ魅力に欠けます。

令和2年9月に、市が策定された「緑の基本計画」は、緑地の保全と緑化の推進に関する総合的な指針となるものですが、その具体的な施策の一つに、緑道の整備やウォーキングコース沿いの緑化推進が掲げられております。

当地区は数多くの水と緑の拠点に加え、神社・仏閣を始めとする史跡も多く存在します。これらを活かしたウォーキングコースの設定により、ウェルネスバレー地区の更なる魅力アップにつなげていただきたい

(7) ウェルネスバレーブリッジ（仮称）の建設

あいち健康の森公園やげんきの郷、あいち健康プラザ、ウッド・ビレッジなどでは、ウェルネスバレーめぐりを始め様々なイベントが開催されていますが、関係施設相互の連携や歩行者の安全確保が課題となっています。

また、ウェルネスバレー構想が策定されて10年以上が経過しましたが、当構想の広域的な認知度は現在も十分とは言えない状況です。

ついては、あいち健康の森公園とげんきの郷やウッド・ビレッジを結ぶシンボリックな空中回廊を建設して、改めて地域の内外へアピールすることを提案します。ウェルネスバレーのランドマークとなるような施設を建設していただきたい。

IV 臨時・特別要請 新型コロナウイルス感染症対策



1 新型コロナウイルス感染症の長期化に対応した支援の継続と拡充

現在の中小企業や地域経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、昨年来の資源価格の高騰や円安基調に加えて、ロシアのウクライナ侵攻が重なり、多大な影響を受けております。また、ウィルスの変異による感染力アップで、従業員の療養が相次ぎ営業自体を休止せざるを得ない事業所も散見されます。市による各種支援の継続と拡充をお願いします。

(1) 補助制度の継続と拡充

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い実施された、ゼロゼロ融資の据置期間が間もなく到来します。コロナ禍が長引く中、事業者の体力はいまだ回復しておらず、償還や諸物価の高騰が大きな負担になるものと予想されます。

償還補助の新設や償還期間の延長等について、市としても国始め関係機関へ要請するとともに、申請手続きや補助要件が簡易・簡素な市補助制度の継続と拡充をお願いします。

- ① がんばる事業者応援補助金制度
- ② 小規模企業等振興資金等信用保証料補助制度
- ③ 小規模事業者経営改善資金利子補給制度

(2) 貸出キッチンカー駐車場の貸与

当所では、キッチンカー販売への転換で競争力強化を図ったり、業種・業態転換のため新たにキッチンカー事業に挑戦する事業者を支援するため、キッチンカーの貸出事業を本年 11 月から開始します。

ついては、このキッチンカーの待機場所となる駐車場の確保について、使用料も含め市の支援をお願いします。

貸出キッチンカーは事業者支援のみならず、災害時の炊き出しや電源車としても活用を想定しています。市による特段の配慮をお願いします。

(3) ふるさと納税返礼品登録の拡大（再掲）

ふるさと納税返礼品としての登録は、IT を活用した販路の開拓であり、小規模事業者の新たなビジネスチャンスにつながるものと認識しています。令和 4 年度と同様に今後も市と連携・協力して進めて参りますので、ふるさと納税特産品開発補助金の継続など、支援と指導をお願いします。

2 公共事業等による景気の下支え

市内事業者を対象にした公共工事、物販、役務等の積極的な発注により、需要を喚起していただきたい。

また、工期・納期において柔軟かつ十分な対応を行うとともに、迅速な支払いや予定価格について配慮をお願いしたい。

おわりに ～ 定期的な経済界との意見交換と財政支援について ～

大府市はいまだに人口増を続けている数少ない自治体です。その力の源泉は、自動車産業を始めとする製造業や中小・小規模事業者の振興により、厚みを増して来た産業力の集積にあります。私たちは、この先人の努力を継承して今後も生産性を高め、高い付加価値を生み出していかなければなりません。それがまた人材・情報・資本をこの地域に呼び込み、成長・発展して行く「持続可能な地域づくり」につながります。

大府商工会議所は地域唯一の総合的経済団体として、大府市が掲げる「いつまでも住み続けたい・サステナブル健康都市おおぶ」の実現に向けて、大府市と連携協力して地域づくりに取り組んでまいります。

社会資本整備や産業振興など市政各般にわたり様々な要請をさせていただきましたが、最後に経済界と市との定期的な意見交換の活性化と当所への財政支援について要請いたします。

■ 大府市産業振興懇談会の活性化

市と産業界との定期的な意見交換について要請したところ、大府市産業振興懇談会で分野間の情報共有や調整をしているとの所見をいただいております。

しかしながら、年1回の形式的な懇談会では、情報交換の量も質も限られます。開催回数の増と闊達な意見交換や提案が出来る運営に配慮していただき、懇談会の活性化を図るようお願いします。

■ 小規模事業補助金等の水準回復

大府商工会議所は、当市の商工業者2,900者の過半を会員とする、市内唯一の総合的な経済団体であり、地域内商工業の発展を図り、兼ねて社会一般の福祉増進に資することを目的に、中小企業の活力強化、地域振興、行政への提言・要請等様々な活動を行っております。

その財源は、会員会費や事業収入の他、多くを愛知県及び大府市の補助金に負っています。市におかれては、従来の産業振興施策の方向性を踏まえ、小規模事業補助金等の水準を回復していただくよう、特段の配慮をお願いします。

参 考 資 料

1 幹線道路の整備促進

2 幹線道路の交差点改良等

3 高速道路の利便性向上

～知多半島道路大府パーキングエリアへのスマートインターチェンジの設置～

4 高速道路の利便性向上

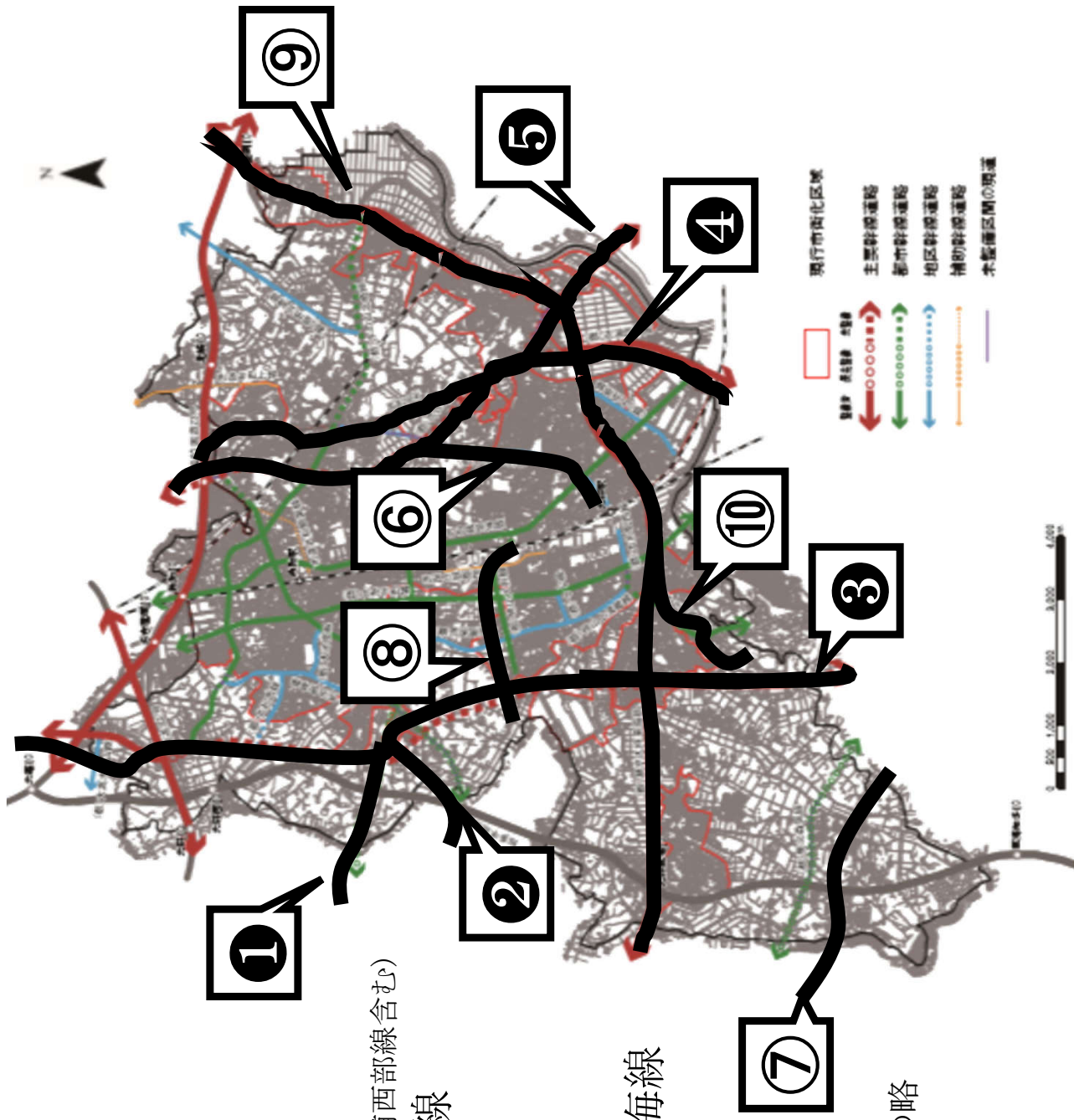
～知多半島道路大府西インターチェンジの解消～

5 地域産業の振興と雇用確保

1 幹線道路の整備促進

- ①(都)荒尾大府線
- ②(都)東海有松線
- ③(都)大府東浦線
- ④国道366号線(衣浦西部線含む)
- ⑤(都)名古屋刈谷線
- ⑥(都)大府駅前線
- ⑦(都)養父森岡線
- ⑧(都)終山大府線
- ⑨(都)瀬戸大府東海線
- ⑩(都)健康の森線

※(都):都市計画道路の略



注) 地図の出典は第4次大府市都市計画マスタープラン

2 幹線道路の交差点改良等

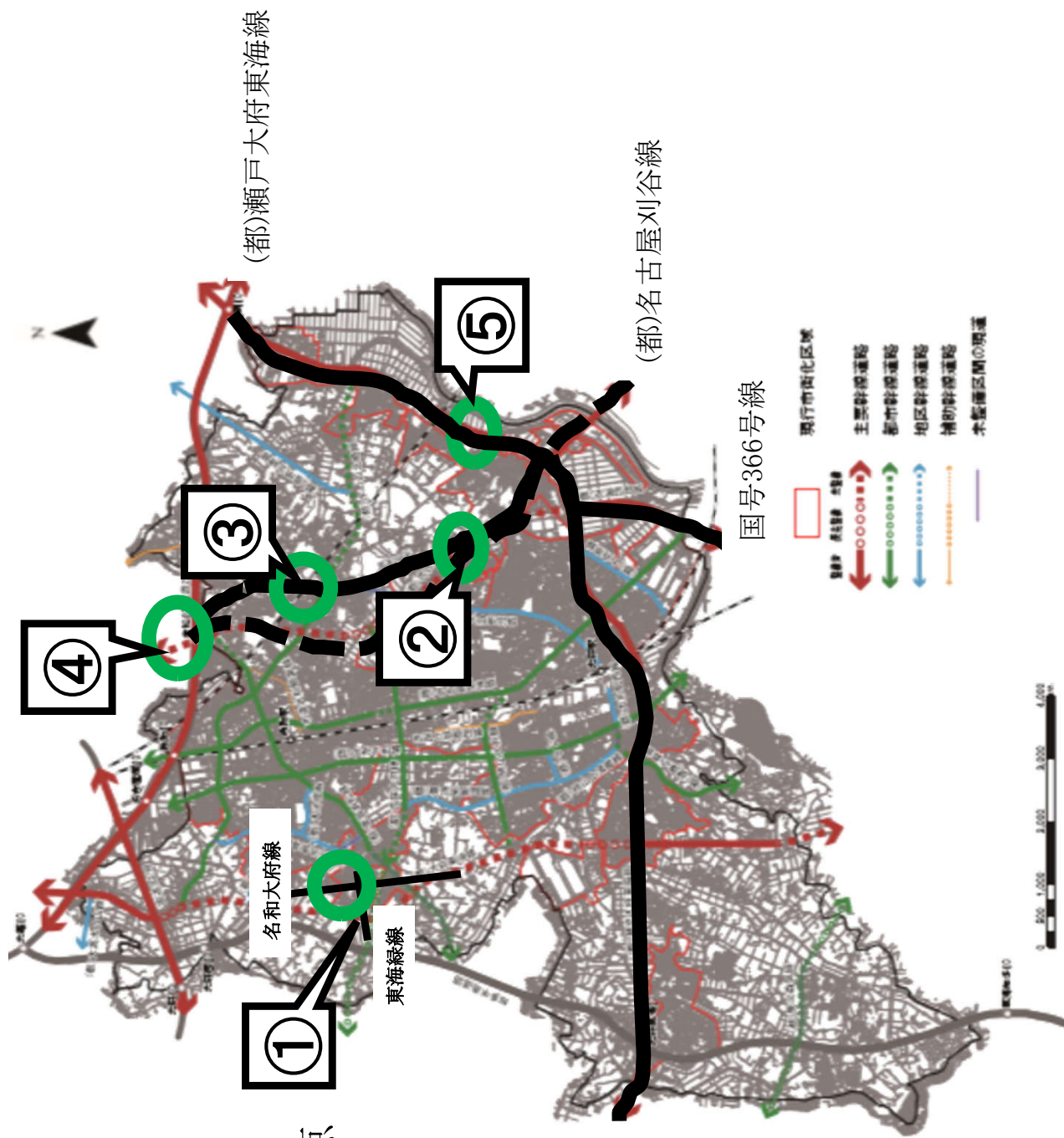
- *一般県道名和大府線
- *一般県道東海緑線
- ①田面交差点、本郷交差点

- * (都)名古屋刈谷線
- ②午池南交差点

- *国道366号線
- ③梶田町六丁目
- ④梶田町一丁目交差点

- * (都)瀬戸大府東海線
- ⑤横根町後田交差点

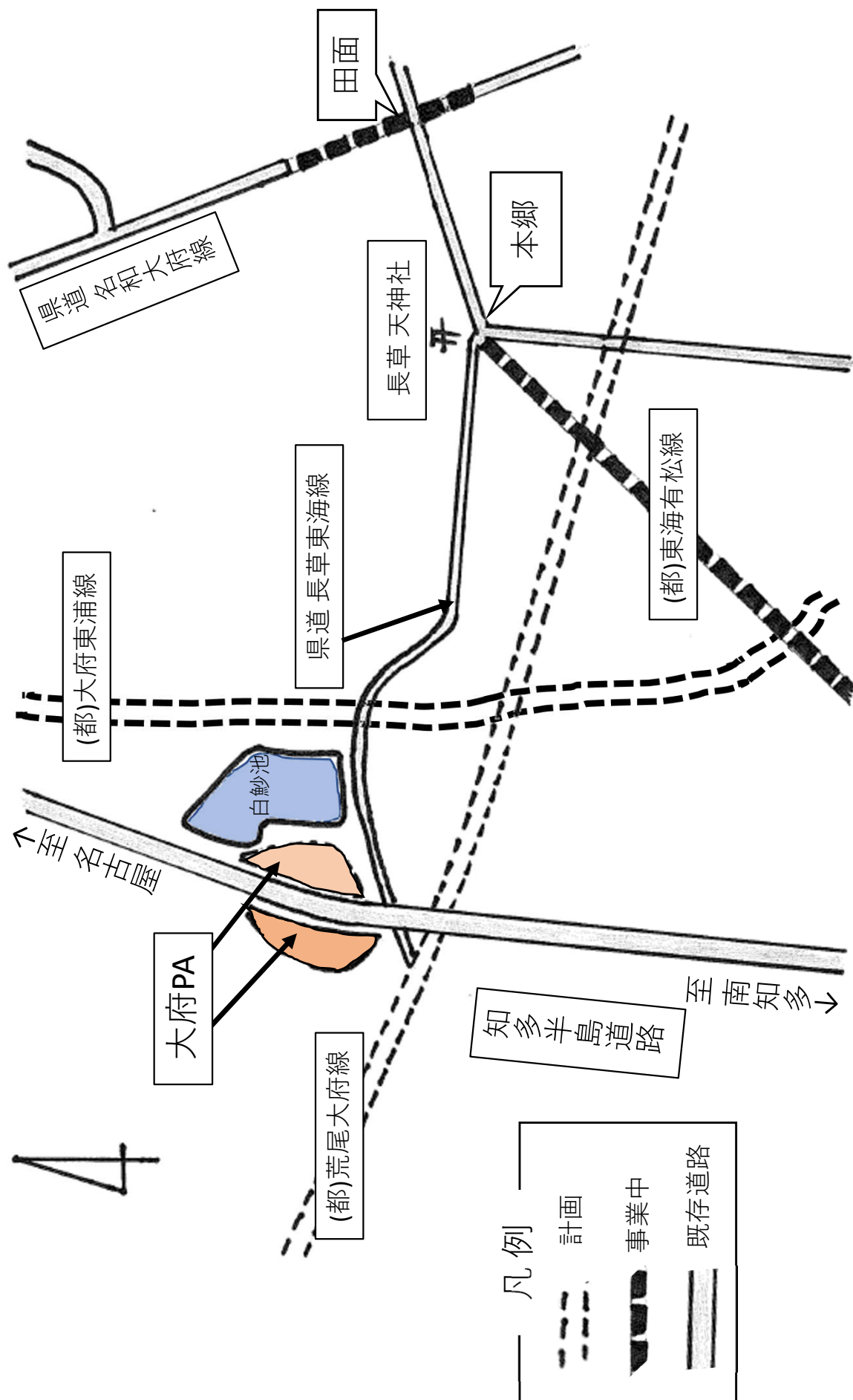
※(都):都市計画道路の略



注) 地図の出典は第4次大府市都市計画マスタープラン

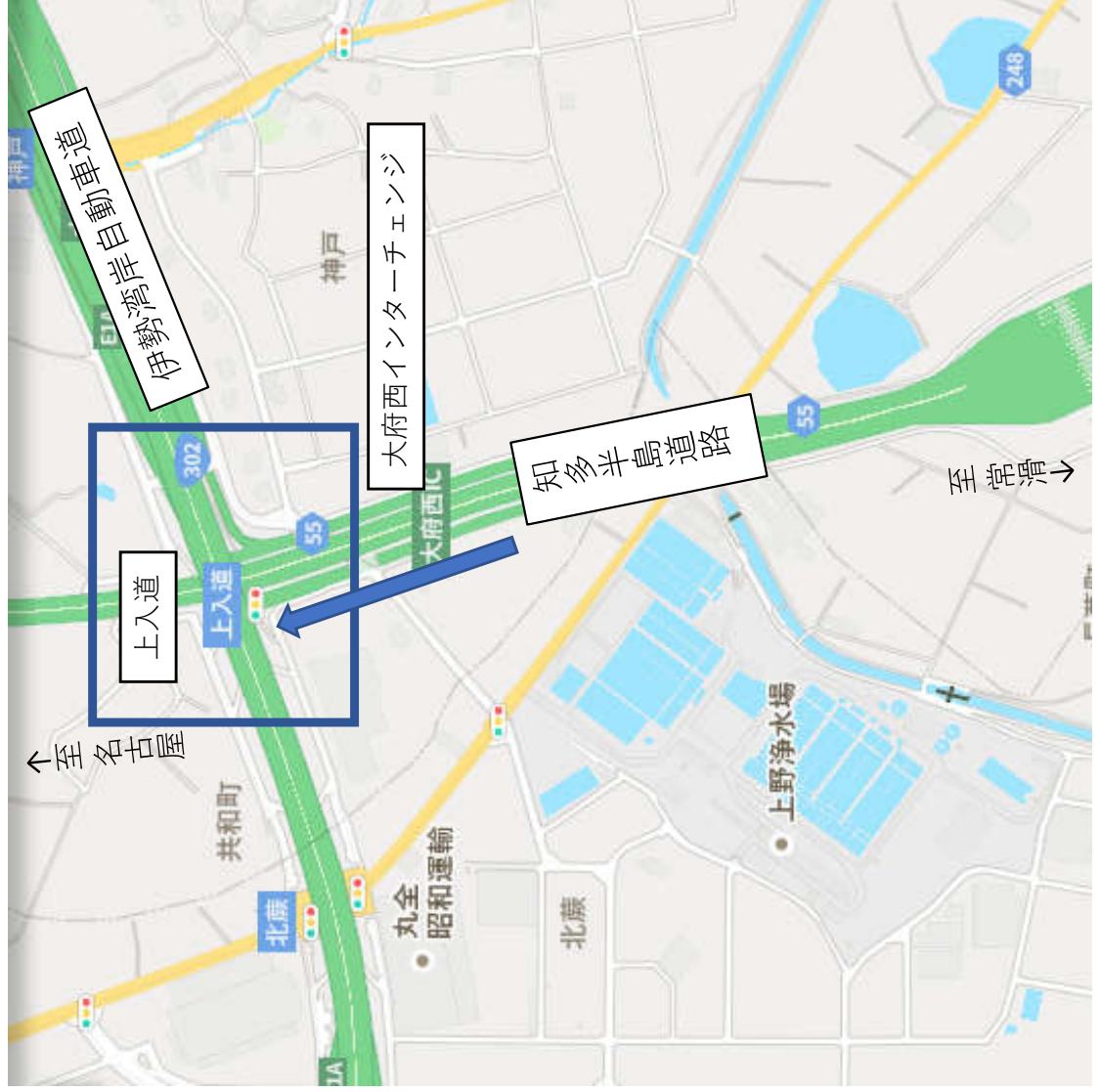
3 高速道路の利便性向上

～ 知多半島道路大府パーキングエリアへのスマートインターチェンジの設置～

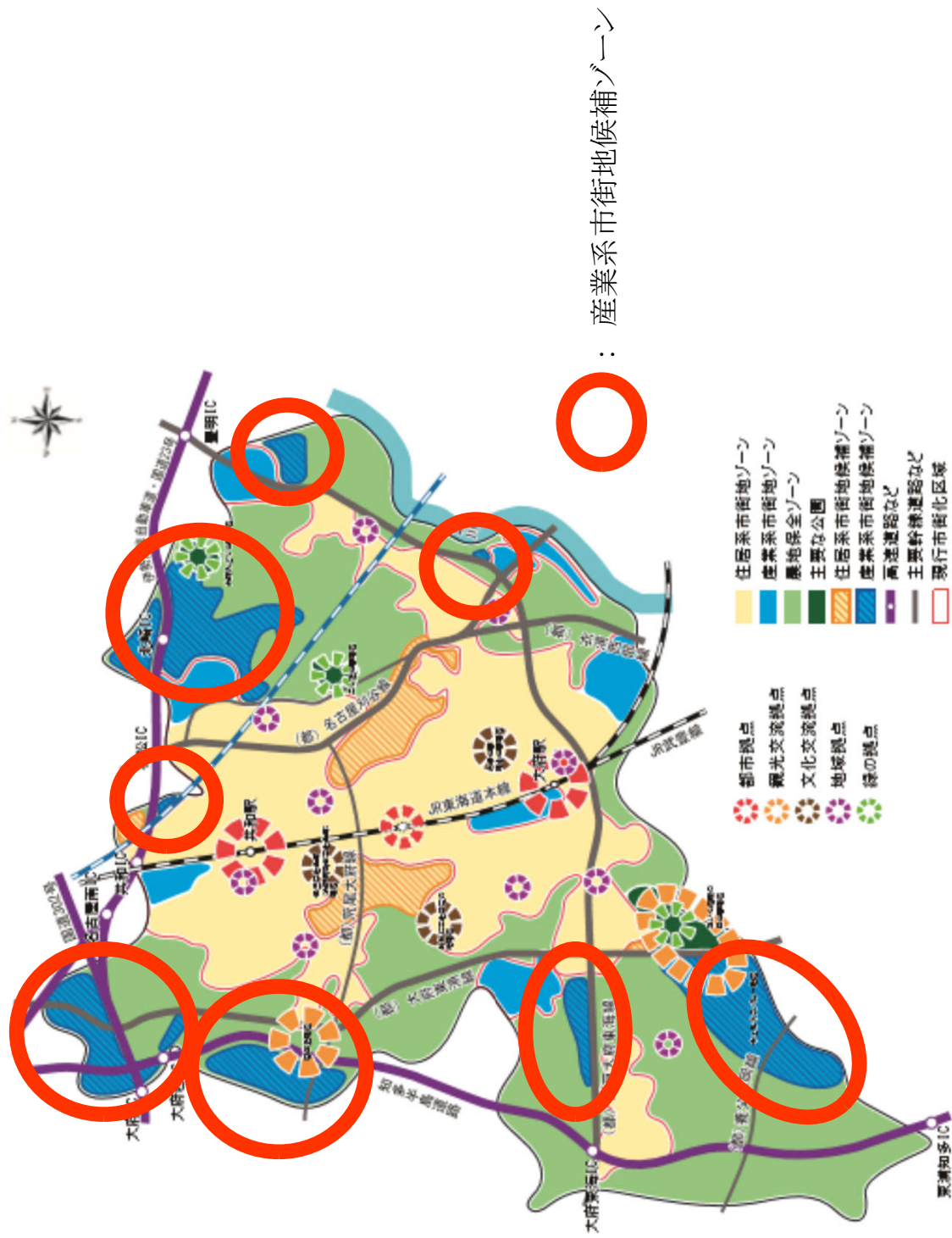


4 高速道路の利便性向上

～知多半島大府西インターチェンジの解消～



5 地域産業の振興と雇用確保



注) 地図の出典は第4次大府市都市計画マスタープラン